

# ニュース

第229号

発行日 令和5年12月1日  
 発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資  
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20  
 電話 0299 (69) 2222  
 FAX 0299 (69) 2237  
 ホームページ <https://nakadaiikushinen.jp/>

## 今月の生活目標

【単 元】

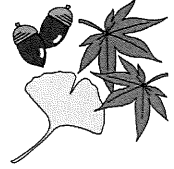
○勤労の尊さ

【目 標】

☆勤労の意義や

尊さを知り、健康で働ける（生活できる）ことに感謝できるようになりましょう。

☆喜んで働く態度や親切な心を持って皆のために尽くしましょう。



## 感染症対策について

相談支援専門員 千葉浩子

新型コロナウイルス感染症は今年の5月8日に感染症法上の位置づけが2類から5類へ移行となり、感染対策は個人や事業所の判断に委ねられるようになりました。

当事業所に於いても、5類への移行に沿った感染対策を感染予防委員会を中心に行ってきました。マスクの着用は個人の判断となったことを受け、利用者さんには着用するかどうかを選択して頂いています。病院時には着用できるように支援しています。職員はマスク着用を継続して支援にあたっています。

コロナ禍以前のような日常を取り戻せるように、地域の感染状況や動向を見ながら、地域の活動への参加及び地域の方々の受け入れをして、交流を行ってきました。感染予防として、手洗い・手指消毒の徹底、換気を日頃から心がけていましたが、今年9月にコロナクラスターが発生してしまいました。通所の方々に於かれましては、暫くの間、当事業所のご利用が出来なくなりました。大変ご迷惑をおかけしました。入所の方々のご家族に於かれましては、大変ご心配をおかけしてしまいました。

今回のクラスターでは全体に感染が広がることなく、重症化したり、後遺症のみられる利用者さんがおられなかった事が救いでした。

昨年10月のクラスター後には、体力の低下が顕著になってしまった利用者さんが多数でしたが、今回は体力低下の目立つ利用者さんは見られませんでした。

感染拡大対策中の様子を職員に訊いてみると、感染していない利用者さんが居室だけで過ごすのではなく、職員が誘い掛けて、屋外のいつもの歩行コースを散歩していたとの事でした。気分転換できていたのと同時に軽い運動を続けていたようでした。感染してしまった利用者さんに対しては、看護師と連携し、回復状況をみて散歩に誘いかけていたそうです。

今年の夏には4年ぶりに「中台夏祭り」を開催。利用者さん・ご家族・地域の皆さんの笑顔が集いました。かしままつり「みんなの広場」の模擬店では、たい焼きと揚げパンが大人気で行列が絶えませんでした。名物の「中台のたい焼き」を覚えて下さったのでしようか。当事業所では秋から春にかけても行事が目白押しです。地域行事への参加も積極的に、ご家族はもちろんのこと、地域ともつながりを取り戻したいと思っています。

感染症対策の意識は、今後ずっと絶やすことなく事業を行ってまいります。

\*\*\*たい焼きとわたし\*\*\*

生活支援員 兼子絵理

皆さんは中台育心園の長年の伝統を何か知っていますか？それは「たい焼き」です。私が入職した時に、「中台は地域行事で出したい焼きが毎回好評なんですよ。」と園長先生に教えて頂きました。地域行事や園内行事で食べたときには「生地がふわふわで餡子が甘くて美味しい〜！」と笑顔ですぐに食べてしまいました。ここ最近ではコロナ禍もあり、地域行事に出店することもできず、たい焼きからは遠ざかっていました。しかし、今年は4年ぶりに「かしままつり・みんなの広場」が開催されることが決定し、当園のたい焼きも参加することになりました。そして今年の模擬店（たい焼き）で指揮をとったのが私でした。初めての担当でそれはもう緊張です。10月21日に参加することになり、9月からたい焼きの試運転が始まりました。今年のたい焼き担当は5人中4人が初参加のメンバーで、動画サイトで見た焼き方を確認しながら、ここはこうじ

やない？この方がいいかな？と試行錯誤…。当日までに合計4回の試し焼きを行いました。試し焼きの時には利用者さんがたくさん見に来てくれて、たい焼きを楽しみにしてくれていました。練習で作った歪なたい焼きでも「美味しい！」と言ってくれて心が救われました。

さあ、いざ本番。当日は風が少なく天気も良好、絶好のたい焼き日和です。生地担当、餡子担当、焼き担当、包装担当とローテーションで行っていきました。開始時刻には嬉しいことに既に行列ができていました。「毎年買ってたんです。」「楽しみにしてたんです。」とお客様からの声が聞こえたときには、やはり中台伝統のたい焼きなんだ：と実感すると同時に頑張らなくては、と気持ちが入りました。当日私の家族が買いに来てくれたんですが、「すごい行列が出来てるのは中台だけだったよ。」と言われ、そこでもやはり伝統のたい焼き：と驚きました。最終的にたい焼きは890個を売ることができ、大盛況のうちに幕を閉じました。初めてのたい焼きと共に中台の伝統に触れることができ、なんだか誇らしい気持ちになり、終了後は沢山の労いの言葉に涙腺が緩みそうになりましたが、服に染み付いたたい焼きの匂いでふふっと笑ってしまいました。

## パン工房梵天

パン製造班担当 茂木 豊子

令和4年度の再スタートしたパン作業班の活動も1年半が過ぎました。おかげさまで作業活動、パン工房の運営とようやく軌道に乗り始め、今年度は施設行事、地域イベントへの参加など活動の場が広がり、利用者さんの意欲向上や作業効率のアップに繋がりました。そして何より利用者さんの活力源は、パンを購入して下さるお客様です。そこで集客のために取り組んだ店内の雰囲気づくりについて紹介します。まずは大森支援員が作成した温かみのある看板と利用者さんの心がこもった作品を飾り、藤元事務員による画像コラージュの協力で梵天会食や施設行事、イベント出店など、活動の様子を店内掲示板に載せています。お客様が掲示板をご覧になり、作業場の利用者さんへの励ましのお声掛けして下さる方、掲示板がある事で福祉や障がい者自立支援に興味や理解を示して頂くことができたと思います。パン作業班の一員になり、新しい発見や出会いに恵まれ、充実した一年半を遅れました。今後も利用者さんと共に優しい気持ちでパンを丁寧に作れるよう作業支援に努めていきます。

【住所】 鹿嶋市鉢形台2-17-5

【電話】 0299-83-0316

【営業時間】 開店12時 閉店17時

※完売にて終了いたします。

【定休日】 金・土・日

## 事務所だより

事務員 杉山 やよい

園の仲間入りから早いもので半年が過ぎました。利用者さんの屈託のない笑顔やお話し、職員の皆さんの温かい励ましや指導の元で楽しく仕事をさせて頂いています。

そんな皆さんの気持ちに沿っていけるように、心掛けていることがあります。それは「和」です。漢字一文字の言葉ですが、やわらぐ、おだやかに、なかよくする、あわせる、あえる、と言うような意味を持ち、一つの漢字を加えると、平和、穏和、協和、調和、和解など様々な意味になる一文字です。「和」の場を作る為に、一つは「おはようございます」「ありがとうございます」を笑顔で明るく気持ちを伝える事で、相手の気持ちが和らいだり和んだりするのではないかと思います。二つ目は素直に「ごめんなさい」と伝える事です。照れくさかったり、素直になれなかったりしてしまう事もあります。まずは「ごめんなさい」と伝える事で相手が穏やかな気持ちになれたりするのではないかと思います。ごめんなさいは言わないで済む事が一番良いと思いますが…。(笑)

他にも「和」の場を作る為に大切な事が沢山あるのですが、まずはこれを極めていけるように心掛け続けたいと思います。世界ではウクライナやガザの侵攻と心痛む出来事が起きていますが、これも「和」で「和を以て貴しと為す」という日本の心が伝わり、世界が平和で穏やかになって欲しいと願っております。

# グループだより

## ★ひまわりグループ

### 『ポチとタマとミケ』

私が当園に入職して10年になります。入職当初から今現在まで続いている横山さんとのコミュニケーションがあります。それは何かというところ。入職してすぐの頃、余暇時間に利用者さんと一緒に過ごしていると、突然横山さんが「犬、飼ってる？」と尋ねてきました。何も飼っていなかった私は「ペットは飼っていないんです。」と答えましたが、それでも「ペットいる？」と尋ねて来られました。すると、その様子を見ていた先輩職員から「横山さんなりのコミュニケーションだよ、ペットを飼っているつもりで答えてごらん？」とアドバイスを頂きました。その日から横山さんの中で、私は「犬のポチ」「猫のタマとミケ」を飼っています。いつも嬉しそうに「犬くんの名前は？」「猫ちゃんは何色？」と聞きに来てくれる横山さん。これからも私の妄想、ペットの話聞きに来て下さいね。(林)

## ★すみれグループ

### 『新メンバー紹介』

10月より、なでしこグループから山中圭子さんがすみれグループの仲

間に加わりました。山中さんは以前すみれグループに居たこともあるので、久しぶりの復帰となりました。引越した初日は少しの緊張があったようですが、持ち前の明るさと誰とでもすぐに打ち解けることができ、社交的な性格で、すぐにすみれグループに溶け込むことができました。グループの仕事にも意欲的で、毎日のトイレ掃除、洗濯物の仕上げ、食事前エプロンの準備など頑張ってくれています。余暇時間になると食堂に集まり、仲間とお気に入り、パズルを楽しみながら過ごす姿が印象的です。これからもすみれグループで楽しい毎日を過ごしていきましょうね。(星谷)

## ★あざみグループ

### 『毎日の洗濯』

あざみグループでは毎日、朝の清掃後に洗濯干しを行っています。洗濯機から取り出した物を運んでくれるのが眞壁さん。「洗濯干すよ」と元気な声で仲間知らせてくれます。その声で皆洗濯干し場へ移動し、あざみグループ9人での連携された洗濯干しが始まります。9人分の洗濯物は大量ですが、上着を干す人、ズボンを干す人、下着を干す人など自然に分かれていて、各々ハンガーに干していきます。大量の洗濯物はチームワークの良さで素早く青

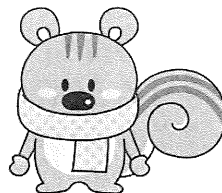
空の下で風になびいています。そして最後は空になった洗濯カゴを洗面所まで運んでくれるのが湖林さんです。この毎日の洗濯干しのチームワークの良さが見ていてとても気持ちがいいです。これからもみんなで協力していきましょうね。(入江)

## ★なでしこグループ

### 『食欲の秋』

とある休日、暑さも和らぎ朝夕涼しくなってきたため、衣類や寝具類を秋冬仕様に衣替えしました。衣替えをしなから、「秋と言えば？」と皆に聞くと、「何だろう？」と首を

かしげる大足さんと久保田さん。「サマじゃない？」と中川さん。「サツマイモもあるよね」と柴田さん。それにつられて「お芋！」と元気な声で野口さん。栗、まぜご飯、かぼちゃと秋の美味しい物で盛り上がりました。その会話を聞きながら微笑む小沼さん、小野口さん。やはり秋と言え「食欲の秋」のなでしこグループでした。もうそこまで冬が近づいてきています。美味しい物を食べ、寒い冬を乗り切りましょう。(北村)



## 作業班だより

生活支援員 井関 秀一

今年の農耕班のテーマとして「自分の役割に対し責任を持つ」というテーマを昨年度の反省会で決めました。除草担当、畝作り担当、マルチ張り担当、様々な役割があります。

野菜が収穫できるまでの過程には畝を作ってマルチを張り、種まき、水やり、追肥をする等たくさんの工程を要します。更に、野菜によっては育て方が違ったり、誰でも最初から全ての工程を正確にこなすことはできるわけではありません。できる人から教わったり、又、できる人はうまく伝えるように教える事を意識し、皆が一つずつできる事を増やしていくことが理想です。これは農耕班に限らず、普段の生活の場でも同じで、農耕班のメンバーのやり抜く力や責任感を育み、良いチームになれるよう日々頑張る作業をしていきたいと思ひます。また、今年の夏は沢山の野菜が豊作で、農耕班全体の達成感に繋がりました。今後も沢山の収穫物ができるように農耕班は皆役割に責任を持って頑張ります。

# ～ 実習を終えて～

聖徳大学 櫻 弥希

聖徳大学 船木 未来

中台育心園で実習させて頂き、私は沢山学ぶ事ができました。最初は不安が大きく、利用者さんと上手くコミュニケーションを取る事が出来るだろうか、どのような障がいを持った利用者さんがいるのだろうか等、分からない事が沢山ありました。しかし、いざ実習が始まり利用者さんと関わってみると、様々な個性があり、その個性を知っていく程、楽しみながら充実した実習を送る事が出来ました。日常の会話、作業での関り、あっという間の11日間でした。障がい者支援施設に携えるのは大変な事もあると感じましたが、それ以上のやりがいを感じる事ができ、新たな将来の選択肢が広がりました。

短い間でしたが、今回の経験を糧に、今後の学びに活かしていきたいと思います。11日間ありがとうございました。

中台育心園での実習を通して様々な事を学びました。初めての施設実習でとても緊張し、利用者さんとの関わり方や、どのように話しかければいいのだろうかと頭の中で何度も繰り返し考えていました。しかし、そんな心配をよそに利用者さんは私たちを温かく迎え入れてくれました。それが本当に嬉しかったです。コミュニケーションを取る事が難しい利用者さんには、職員の皆さんが教えて下さったその人の特技や好きな事をきっかけに関わる事で、少しずつ笑顔を見せてくれるようになり、私はとてもやりがいを感じる事が出来ました。障がい者に対して優しく接しようと思っていましたが、そのような考えは偏見であったと実習を通して感じました。利用者さんそれぞれに特性があり、職員の方は特性を理解し受け入れ支援されていました。そこには偏見などはなく、ありのままを受け入れているだけでした。私は実習期間中に利用者さんと職員の関係が築かれているからこそ、皆素直に生き活きと生活しているように見えました。最終日のお別れはとても寂しかったです。11日間とても貴重な経験をする事ができました。本当にありがとうございました。

## 跡 跡 跡

〔9月・10月〕

【寄付】

▼池田洋様

▼小野口里子様

▼福栄茂子様

▼福井彰様

▼柳堀實様

▼〔来園者〕

▼横田裕樹様 (会計監査) ▼永光

▼パートナーズ 渡邊様 (会計指導)

▼ウエルポート 鹿嶋 小原様 (モニ

タリング) ▼市村様 藤田様 (施設

見学) ▼筑波銀行 高村様 前田様

(打ち合わせ) ▼稲敷市役所 片岡

様 (認定調査) ▼鹿嶋市役所 大嶋

様 (打ち合わせ) ▼大野消防署 大

川様 浅野様 (救急調査訪問) ▼ゼ

ンリン 守谷様 (案内) ▼横山とし

子様 (面会)

▼〔日中一時支援〕

▼本谷竜久さん

▼梶田浩史さん

▼〔短期入所〕

▼梶田浩史さん

▼石津勝彦さん

▼上遠野郁代さん

▼〔9月・10月誕生者〕

▼橋爪恵子さん

▼眞壁裕大さん

▼湖林健司さん

- ▼石田直也さん
- ▼池田友子さん
- ▼平間尚輝さん
- ▼大部なおみさん
- ▼藤沼光司さん
- ▼鳥居貴裕さん

## 職員紹介

調理員



岩井 梨絵

### 《好きな事》

料理、生き物の世話

### 《一言》

9月から厨房でお世話になっていきます。調理員として成長できるように頑張ります。宜しくお願いします。

## 編集後記

急に寒くなりましたね。私は冬になると思い出す事があります。軽井沢で人生初スノーボード中にド派手に転び、尾髄骨にヒビが入った事。それ以来、私は冬に楽しみを見出せずに12年が経ちます。安全で楽しい冬のアクティビティを見つけてみたいですね。  
(カネコ)

